たべものであたたまろう

はにゅうしりつとしょかん

「ふくらめおもち！」

長井 理佳／さく　チャイルド本社　E/フ/ハジメテ



ねずみのちゅっくんとちょろくんが、いっしょにおもちを焼いて食べることに。あみの上にのせると、おもちはぷっくりとふくらみます。

「かえるとカレーライス」

長 新太／さく　福音館書店　E/カ/ハジメテ



やまがブルブルふるえたかとおもったらけむりがでてきて、ドロドロしたものがながれてきた。ちっちゃなかえるが大きな山のおいしいカレーライスを食べた。

「スープになりました」

彦坂 有紀／作　もりと いずみ／作　E/ス/ハジメテ



にんじん、トマト、ほうれんそう…。色とりどりの野菜たちが、おいしそうなスープに変身！ さあ、ごくっ、ごくごくと、めしあがれ！

「ラーメンちゃん」

長谷川 義史／作　絵本館　E/ラ



子どもたちに元気を届けるラーメンちゃん。「なんとかなるとー」「しなちーくよろちーく」「ほうれんそうげんきだそう」…。思わず笑顔になるユーモア絵本。

「パンどろぼうとほっかほっカー」

柴田 ケイコ／作　KADOKAWA　E/パ



やぎのおばあさんの頼みで、パンを届けに出かけたパンどろぼう。なかなか辿りつけずにいると、1台の車が通りすぎ…。

「いろいろおふろはいり隊」

穂高 順也／作　教育画劇　E/イ



カレーのおふろ、シチューのおふろ、みそ汁のおふろ、グラタンのおふろ…。にんじん、じゃがいも、玉ねぎの“おふろはいり隊”が、おいしいおふろを紹介します！

「でんきがまちゃんとおなべちゃん」

長野 ヒデ子／作　学研　E/デ



でんきがまちゃんのごはんと、おなべちゃんのみそしるを食べると、みんな元気いっぱい！ そこへ、くいしんぼうくまさんがやってきて…。

「きょうのごはん」

加藤 休ミ／作　偕成社　E/キ



夕方になると、どの家からもいいにおいがしてくるよ。こっちのおうちのご飯は何かな？ あっちのおうちのご飯は何かな？ カレーライス、コロッケ、お寿司…。

「うどん対ラーメン」

田中 六大／作　講談社　E/ウ



「うどんとラーメン、どちらがおいしいか決めようではありませんか」ある日、うどんの家に、ラーメンから挑戦状が届いた。戦いの地平に見えた結末とは…。

「ふしぎなおきゃく」

肥田 美代子／作　ひさかたチャイルド　E/フ



「とんちんけん」は、ラーメンのおいしいお店。ところが、ある日やってきたお客は、一口だけ食べて帰ってしまいました。次の日も、その次の日も不思議なお客はやってきて…。

「あげる」

はらぺこめがね／著　佼成出版社　E/ア



カラッ、サクッ、ジュワー…。「あげる」音は、聞くとおなかがすいてくる、とびっきりイカす音。からあげに、かきあげに、コロッケ、とんかつ。

「ははばばあちゃんのやきいもたいかい」

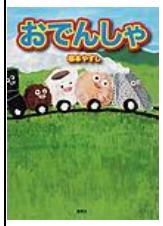
さとう わきこ／作　福音館書店　E/バ



落ち葉を集め、たき火をはじめたははばばあちゃんのお目当ては焼いも。子どもたちに誘われ、バナナやりんごまでたき火の中へ…。

「おでんしゃ」

塚本 やすし／作　集英社　E/オ



おでんの具に車輪がついた「おでんしゃ」が、沖縄から北海道へ出発。大阪で連結に失敗した牛すじ君は、みんなに追いつけるかな？

「ポテトむらのコロッケまつり」

田中 六大/作　講談社　E/ポ



ポテトおばさんの畑で、じゃがいもがたくさんとれました。「大きな大きなコロッケを作ったらどうかしら！」村人たちのコロッケ作り大作戦が始まります！